

# ふくしまの城

福島県内には中世～近世にかけて約1,000以上の城館が築かれたとされており、各地に城跡が残っています。その中には全国的に有名な城もあれば、地元のシンボルとして愛されている城もあります。近年は城歩きなどもブームになっており、城について学びなおす機会も増えているようです。地元のお城を知ること、まちの歴史を知ることにもつながるのではないのでしょうか。

“R”がついている資料は館内でのみご利用いただけます。

## 参考図書(辞書・事典類)で調べる

	日本城郭大系 第3巻	平井聖/[ほか]編集	新人物往来社	1981	L526.2/N3/1
	p.419-614「福島県」				
R	国別城郭・陣屋・要害・台場事典	西ヶ谷恭弘/編	東京堂出版	2002	521.823/N1
	p.69-84 福島県(陸奥国)				
R	日本城郭辞典	鳥羽正雄/著	東京堂出版	1995	521.823/T2/
	図説日本城郭大事典 1	平井聖/監修	日本図書センター	2000	521.823/Z1/
	p.130-148「福島県」				

## 地方で調べる

県内の城に関する資料を、会津・中通り・浜通りの各地方ごとにご紹介します。一般書の他にも、各自治体が発行している「調査報告書」類は、調査の対象となった城の概略や歴史が記載されていることが多く、幅広く活用できる資料です。

### 福島県全域

	ふくしまの城 歴春ふくしま文庫 57	鈴木啓/著	歴史春秋出版	2002	L081.6/R1/57
	武者たちの舞台 ふくしま紀行 城と館 上巻・下巻	福島民報社/編	福島民報社	2007	L526.2/F3/1-
	平成15年から4年間紙面に掲載された福島民報の連載を書籍化したものです。上巻に中通り、下巻に会津・浜通りの城館が掲載されています。				
	会津・仙道・海道地方諸城の研究	沼館愛三/編著	伊吉書院	1980	L526.2/N2/1
	図説 城と石垣の歴史	鈴木啓/著	纂修堂	1995	L526.2/S3/1
	p.85-188「福島県」				
	福島県の中世城館跡 福島県文化財調査報告書 第197集	福島県教育委員会/編	福島県教育委員会	1988	L709/F2/3-197
	福島県遺跡地図 中通り・会津・浜通り地方 福島県文化財調査報告書 第321集	福島県教育委員会/編	福島県教育委員会	1996	L709/F2/3-321-
	東北の名城を歩く 南東北編 宮城・福島・山形	飯村均/編	吉川弘文館	2017	521.823/4t179/

### 会津の城

#### ◆若松城

鶴ヶ城という愛称が有名な若松城は、至徳元(1384)年に蘆名直盛が築いた城が始まりとされています。時を経て蒲生氏郷が会津に入ると、城の改修を行い、町の名前も「若松」と改めました。戊辰戦争では新政府軍の攻撃を1ヵ月間耐え抜きましたが、明治7年に取り壊されました。再建された現在の若松城は、落城当時の赤瓦が再現されています。

	詳解 会津若松城下絵図 甦る、いにしへの会津若松城下	野口信一/監修	歴史春秋出版	2011	L216/N5/5-1
	会津若松城	斎藤光男/著	日本図書刊行会	1989	L216/S11/1
	若松城郭門	会津史談会調査部/編	会津史談会	1979	L526.2/A3/1
	鶴ヶ城を歩く みちのくに聳え立つ天下の名城	佐藤恒雄/著	歴史春秋出版	1998	L526.2/S5/
	史跡 若松城跡 会津若松市文化財調査報告書1～8	会津若松市教育委員会/編	会津若松市教育委員会	1995	L709/A1/2-

## ◆向羽黒山城

1568(永禄11)年に蘆名盛氏が岩崎山(会津美里町)に築いた山城で、山の名前から岩崎城とも称されました。断崖絶壁の斜面と、阿賀川という天然の要害を備え、山頂の本丸跡からは会津盆地を一望できます。遺構が国の史跡に指定されているほか、2017年には続日本100名城にも選定されました。

R	解説向羽黒山城(岩崎城)跡	向羽黒山城跡検証事業実行委員会/編	向羽黒山城跡検証事業実行委員会	2000	L526.2/M3/1
	向羽黒山城跡ガイドブック 歴春ブックレット 28	佐藤金一郎/著	歴史春秋出版	2003	L526.2/S6/1

## ◆その他

	会津の城 戦国時代から戊辰戦争までの城と戦場	石田明夫/執筆	会津古城研究会	2015	L526.2/I2/3
	会津の城 戦乱を駆け抜けた武将の残影	小島一男/著	歴史春秋出版	1998	L526.2/K3/1
	南会津郡下郷町城館址調査 第3次調査概報	日本城郭史学会/編	下郷町教育委員会	1990	L526.2/N5/1
	史跡 鳴山城 保存管理事業策定書	鳴山城址保存管理事業計画策定委員会/編	鳴山城址保存管理事業計画策定委員会	1984	L526.2/S2/1
	北塩原の城館柵	渡部新一/著	渡部新一	1987	L526.2/W2/1
	神指城跡 試掘調査報告書 会津若松市文化財調査報告書 第120号	会津若松市教育委員会/編	会津若松市教育委員会	2010	L709/A1/2-120
	会津只見の中世城館跡 只見町文化財調査報告書 第6集	只見町教育委員会/編	只見町教育委員会	1995	L709/T7/1-6

## 中通りの城

## ◆二本松城

霞ヶ城とも呼ばれる二本松城は、応永21(1414)年に畠山満泰によって築かれたのち、寛永20(1643)年に白河から入城した丹羽光重により大規模な改修が行われました。城跡は県立霞ヶ城公園として整備されており、平成19(2007)年には「二本松城跡」として国の史跡に指定されました。

	二本松城址 1(平成2・3年度) 調査報告書	二本松市教育委員会/編	二本松市教育委員会	1992	L526.2/N6/1-
	二本松城 築城から廃城まで	二本松市歴史資料館/[編]	二本松市歴史資料館	[2014]	L526.2/N10/1

## ◆三春城

永正年間(1504-21)に田村清頭が築いたとされる三春城は、別名「舞鶴城」とも称されました。現在は石垣や土塁の一部を残すのみですが、城跡は公園として整備されており、桜の名所としても親しまれています。2017年に続日本100名城に選定されました。

	三春城と城下町 平成10年度春季特別展	三春町歴史民俗資料館	三春町歴史民俗資料館	1998	L214/M6/3
	三春 城下町を歩こう れきみんブックレット 1	三春町歴史民俗資料館/編	三春町歴史民俗資料館	2008	L291.4/M10/1
	三春城 総合調査報告書	三春町教育委員会/編	三春町教育委員会	1991	L526.2/M5/1

## ◆小峰城

興国年間(1340-45年)に結城親朝により築城され、後年、棚倉藩から移封された丹羽長重により大きな改修が加えられました。戊辰戦争では激しい攻防の主戦場となり、新政府軍の攻撃を受けて落城、焼失しました。現在では再建された三重櫓が来場者を出迎えています。

	丹羽長重と小峰城	白河市歴史民俗資料館/編	白河市歴史民俗資料館	1990	L288.3/S10/2
	史跡 小峰城跡 保存管理計画書	白河市教育委員会/[編]	白河市教育委員会	2015	L526.2/S10/1
	小峰城石垣	山口喜一郎/著	山口喜一郎	1984	L526.2/Y1/1

## ◆その他

	小浜城跡 西京館跡発掘調査報告 岩代町文化財調査報告書 第6集	岩代町教育委員会/編	岩代町教育委員会	1990	L210.02/I9/3-6
R	史跡桑折西山城跡発掘調査総括報告書 桑折町埋蔵文化財調査報告書 29	桑折町教育委員会/編	桑折町教育委員会	2016	L210.02/K16/1-29
R	須賀川城跡 北町地点 須賀川市文化財調査報告書 第41集	須賀川市教育委員会/編	須賀川市教育委員会	2000	L210.02/S5/11-41
	棚倉城跡 1~2 棚倉町埋蔵文化財調査報告書23・24	棚倉町教育委員会/編	棚倉町教育委員会	2014	L210.02/T13/1-
	郡山地方史研究 第34集~第39集, 第41集~第46集	郡山地方史研究会/編	郡山地方史研究会	2004	L210.05/K3/
	郡山市の中世城館(一)~(十二)				
R	岩代町の城館 第1編 岩代町史 別巻 城館	岩代町/編	岩代町	1987	L212/I5/1-5-1
R	岩代町の城館 第2・3編 岩代町史 別巻 小浜城跡発掘調査報告	岩代町/編	岩代町	1987	L212/I5/1-5-2
	郡山の城館 歴春ブックレット安積 2	垣内和孝/著	歴史春秋出版	2015	L213/R1/2

	小平城と蓬田城	二瓶保房／編著	平田村史談会	1997	L214/N6/1
R	塙町の城館址	塙町教育委員会／編集	塙町教育委員会	1986	L526.2/H3/1
	守山城跡と郡山の城館	郡山市文化・学び振興公社文化財調査研究センター／編	郡山市教育委員会	2011	L526.2/K8/1
	幻の福島城	村川友彦／著	歴史春秋出版	2016	L526.2/M6/1
	福島市の中世城館1～3 福島市文化財調査報告書第35集～第37集	福島市教育委員会／編	福島市教育委員会	1994	L709/F3/1-

## 浜通りの城

### ◆相馬中村城

相馬中村藩初代藩主の相馬利胤により慶長16(1611)年に建てられた平台城で、馬陵城とも呼ばれています。城跡が県の史跡に選定されているほか、城址内の相馬中村神社は国の重要文化財に指定されています。

	相馬中村城跡発掘調査報告書 試掘・範囲確認調査 相馬市文化財調査報告書 第11集	相馬市教育委員会／編	相馬市教育委員会	2016	L210.02/S7/3-11
	相馬郷土 第8号	相馬郷土研究会／編	相馬郷土研究会	1993	L219/S15/1-8
	p.1-6「中村城の沿革と価値」				
	相馬市の文化財 6	相馬市文化財保存会／編	相馬市文化財保存会	1989	L709/S16/1-2

### ◆磐城平城

関ヶ原の戦い後、磐城平に10万石で入部した鳥居忠政が慶長8(1603)年に築いた城です。龍が寝ている姿に似ていたことから「龍ヶ城」とも呼ばれました。桜田門外の変の後に老中を務めた安藤信正が城主として藩を治めていたことも有名です。

R	平城跡 中・近世城館跡の調査 いわき市埋蔵文化財調査報告 第117冊	いわき市教育文化事業団／編	いわき市教育委員会	2006	L210.02/I4/3-117
	図説いわきの歴史 福島県の歴史シリーズ	小野一雄／〔ほか〕編	郷土出版社	1999	L218/O7/2
	p.122-123「磐城平城を築く」				
	概説平市史	平市史編集委員会／編	平市役所	1959	L218/T1/1
	p.287-314「鳥居氏の築城と城下町の建設」				

### ◆その他

	いわきの城館跡調査報告書	いわき市教育委員会／編	いわき市教育委員会	1985	L210.02/I4/17
R	泉城跡 近世陣屋跡の調査	いわき市教育文化事業団／編	いわき市	1992	L210.02/I4/3-31
R	白土城跡 戦国大名岩城氏本城の調査 いわき市埋蔵文化財調査報告 第116冊	いわき市教育文化事業団／編	いわき市教育委員会	2006	L210.02/I4/3-116
	福島県の歴史地理研究 条里・城館・炭砒・農業	鈴木貞夫／著	いわき地域学会	1992	L291/S5/1
	檜葉城 現状遺構確認調査・発掘調査報告 1983・1984年度調査	檜葉町教育委員会／〔編〕	檜葉町教育委員会	1986	L526.2/N4/4
R	新地城跡 大手道・縄張りの調査報告書	新地町教育委員会／編	新地町教育委員会	1997	L526.2/S8/1
	双葉町埋蔵文化財調査報告 第9冊 標葉・新山城館跡	双葉町教育委員会／編	双葉町教育委員会	1992	L709/F6/2-9

## 自治体史で調べる

当館では県内全市町村分の自治体史を所蔵しています。“史”と銘打ってはありますが、内容は歴史に限らず文化や自然、産業なども収録されています。城については、「通史編」の中世・近世の巻や、「文化」の巻に収録されていることが多いようです。以下に挙げている資料はほんの一例ですので、調べている城に合わせて、各自治体史を参照してみてください。

	福島県史 第20巻 各論編 文化1	福島県／編	福島県	1965	L210.1/F1/1-20
	p.914-919「城郭建築」				
	桑折町史 第1巻 通史編1 原始・古代・中世・近世 1	桑折町史編纂委員会／編	桑折町史編纂委員会	2002	L212/K11/1-1
	p.344-382「植宗と桑折西山城」				
	須賀川市史 第2巻 中世	須賀川市教育委員会／編	須賀川市教育委員会	1973	L214/S3/2-2
	p.15-48「南北朝と宇津峯城」				
	棚倉町史 第1巻 通史編	棚倉町教育委員会／編	棚倉町	1982	L215/T4/1-1
	p.306-378「棚倉藩の成立と城下町の完成」				
	猪苗代町史〔第3集〕 歴史編	猪苗代町／編	猪苗代町	1982	L216/I6/3
	p.134-138「猪苗代氏と亀ヶ城の構築」、p.173-188「猪苗代の館跡」				

下郷町史 第7巻 原始・古代・中世・近世 通史編	下郷町史編さん委員会／編	下郷町	2012	L217/S1/3-7
p.191-194「下郷町の中世城館跡と板碑」				
檜葉町史 第1巻 通史	檜葉町史編纂委員会／編	檜葉町	1991	L219/N5/1-1-1
p.288-306「城館址と戦国時代」				

## 城絵図

当館で所蔵している城絵図をご紹介します。◎マーク付きの資料はデジタル化が完了している資料(令和2年現在)のため、CD-ROM(貸出可)でのご提供となります。城絵図に関する詳しい説明は平成29年発行の『福島県郷土資料情報 No. 57』にも掲載があります。

	二本松旧城内之全図 ◎	安斎嶂溪／製図	安斎嶂溪	1902	CS526/J1/1
	福島旧城之図 ◎	福島県土木掛／編	福島県	[1868]	CS526/J1/1
	福島旧城郭絵図 ◎	[作者不明]	[出版者不明]	[明治初期](字)	CS526/J1/1
R	会津鶴ヶ城本丸之図	加藤長四郎／著	加藤長四郎	1902	L526.2/K1/1
R	会津鶴ヶ城明細図	加藤長四郎／著	加藤長四郎	1903	L526.2/K1/2
R	陸奥国白川城之図	[作者不明]	[出版者不明]	1779(享本)	L526.2/M1/1
R	中村城郭之図	[作者不明]	[出版者不明]	[出版年不明]	L526.2/N1/1
R	白河旧城内図面并上申書 明治9年	[作者不明]	[出版者不明]	[出版年不明]	L526.2/S1/1
	平城郭之図 ◎	[作者不明]	[出版者不明]	[出版年不明]	CS526/J1/1
	棚倉城郭絵図 ◎	[作者不明]	[出版者不明]	[出版年不明]	CS526/J1/1
	棚倉城外地割絵図 ◎	[作者不明]	[出版者不明]	[出版年不明]	CS526/J1/1
R	若松領分猪苗代城絵図	[作者不明]	[出版者不明]	[出版年不明]	L526.2/W1/1

## インターネットで調べる

公益財団法人日本城郭協会	<a href="http://jokaku.jp/">http://jokaku.jp/</a>
「日本100名城」・「続日本100名城」を選定している日本城郭協会のホームページです。	
会津鶴ヶ城	<a href="http://www.tsurugajo.com/turugajo/shiro-top.html">http://www.tsurugajo.com/turugajo/shiro-top.html</a>
鶴ヶ城を管理運営している会津若松観光ビューローのホームページです。城の歴史のほか、会津の歴史も詳しく掲載されています。	
二本松城	<a href="http://www.nihonmatsu-ed.jp/nihonmatsujyuo/">http://www.nihonmatsu-ed.jp/nihonmatsujyuo/</a>
二本松市教育委員会が運営する、二本松城跡のホームページです。歴史や年表が掲載されています。	
中村城跡	<a href="https://www.city.soma.fukushima.jp/digital/nakamura_jouseki/4399.html">https://www.city.soma.fukushima.jp/digital/nakamura_jouseki/4399.html</a>
相馬市の公式ホームページ内にあるデジタルミュージアムのページです。城に限らず相馬市の郷土について詳しく記載されています。	
棚倉城	<a href="http://www.town.tanagura.fukushima.jp/page/page000304.html">http://www.town.tanagura.fukushima.jp/page/page000304.html</a>
棚倉町の公式ホームページです。歴代城主の変遷について記載があります。	
遺跡データベース	<a href="http://search.mahoron.fcp.or.jp/cgi-bin/bunkazai?fn=iseki&amp;clear=true">http://search.mahoron.fcp.or.jp/cgi-bin/bunkazai?fn=iseki&amp;clear=true</a>
まほろん(福島県文化財センター白河館)のホームページから利用できるデータベースです。「城館跡」を指定することで、城跡の場所や地図、参考文献を検索することができます。	
[日本古城絵図] 東山道之部(6)(国立国会図書館デジタルコレクション収録)	<a href="https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1286459">https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1286459</a>
旧鳥羽藩主稲垣家旧蔵の城郭絵図集です。国立国会図書館デジタルコレクションに収録されており、インターネットから閲覧することができます。県内の城で収録されている絵図は以下の通りです。 181 奥州中村城, 182 奥州平城之図, 184 奥州棚倉城図, 185 奥州棚倉城図, 186 三春城図, 187 奥州三春城図, 188 磐城之城絵図, 189白川城図, 190奥州白川城図, 191 奥州二本松城図, 192 会津郡二本松城之図, 193 奥州二本松城図, 194 奥州会津若松城, 195 奥州会津城図	

このほか、各自治体のホームページ内に城の紹介がされている場合があります。